

「表現力」「創造力」「コミュニケーション力」を高めることによって、豊かな自己表現ができ、実社会の諸問題にも適切な対処ができるような人材を育成する。

**DP1**

知的財産としての言語文化・表象文化に関する見識を持ち、その価値の継承・発信の社会的意義を理解することができる。(知識・関心・理解)

**DP2**

文化的叡智に幅広く触れることで総合的な判断力を養い、自己の考えを他者に的確に伝えることができる。(思考・判断)

**DP3**

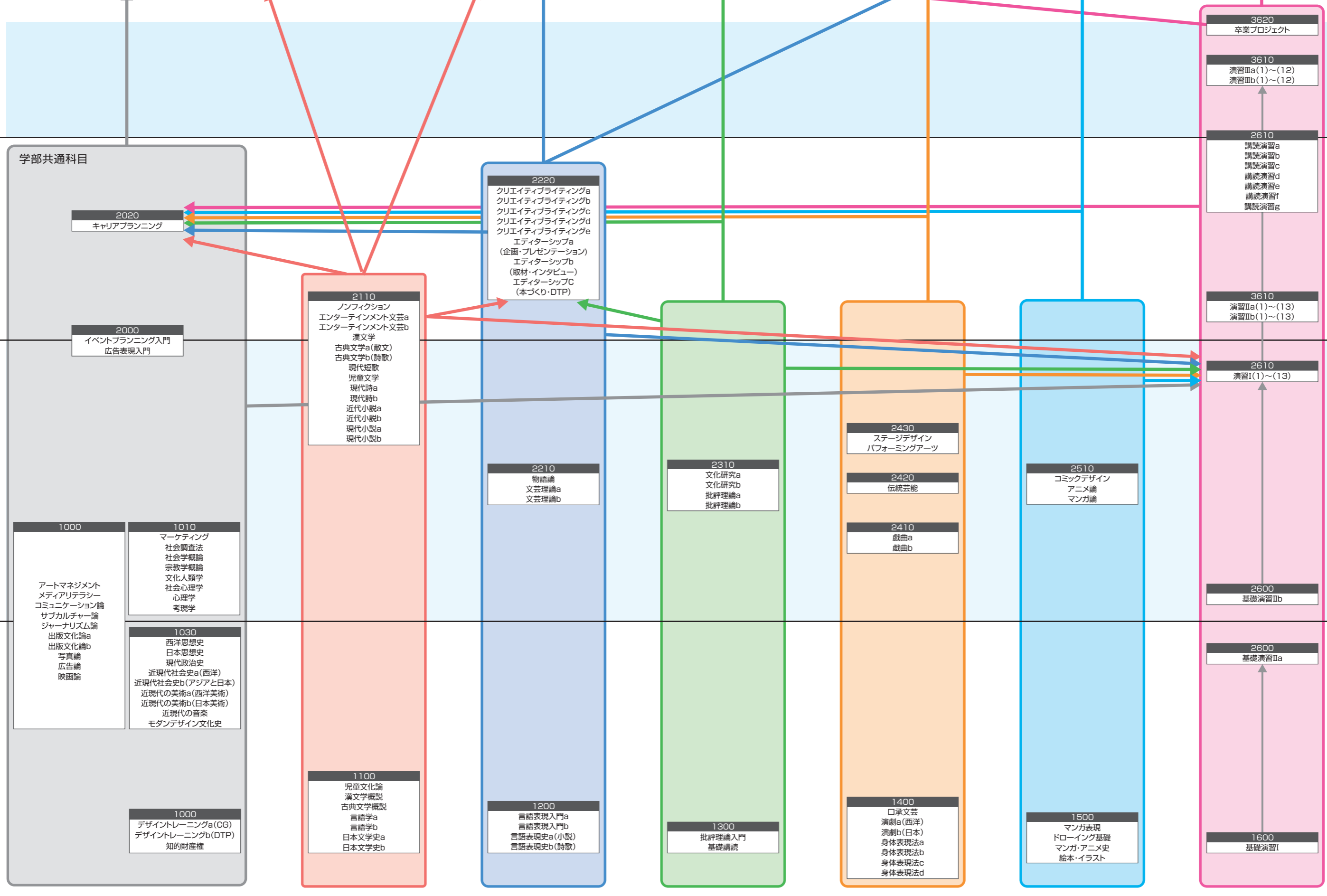
文芸を中心とした創造的な表現活動に携わり得る知識と実践的な表現技術とを身につけることができる。(技能・表現)

4年次

3年次

2年次

1年次



**凡例**

授業レベル  
1…基礎  
2…中級  
3…発展

科目群  
0…学部共通科目  
0…学部基礎科目  
1…一般教養科目  
2…キャリア形成科目  
3…歴史科目  
1…文芸教養  
0…基礎科目  
1…文芸各論  
2…文芸創作  
0…基礎科目  
1…創作理論  
2…創作実践  
3…文芸批評  
0…基礎科目  
1…理論と実践  
4…演劇・芸能  
0…基礎科目  
1…戯曲  
2…伝統芸能  
3…現代演劇  
5…マンガ  
0…基礎科目  
1…理論と実践  
6…創作表現卒業プロジェクト  
0…プレ・ゼミナール  
1…ゼミナール  
2…卒業プロジェクト

使用言語  
0…日本語  
1…英語  
2…日本語と英語のバイリンガル  
3…その他の言語